

法学部・法学政治学研究科ビジョン

社会の最先端の変化に対応する高度な研究・教育拠点の形成と高度な専門的人材の育成

社会の変化の最先端を先取りすることが多い大都市を抱える東京都が設置する大学ならではの高度な研究と、その成果を教育として還元する知的拠点を形成し、「新しい時代に向けて、新たな要請に応え、社会を変える」能力を備えた、専門的人材の育成に務め、新しい時代の日本や世界に貢献します。

戦略1 大都市圏をはじめとして新たに生ずる先端的な法的・政治的・行政的諸問題に取り組む、法曹、政策プロフェッショナル、高度ジェネラリスト等、高度専門職業人の育成

(1) 学部教育と法曹養成専攻（法科大学院）の連携・拡充

ICT化、AI社会等、常に新たな事象への価値判断が求められ、様々な事項が複雑に絡み合ながら絶えず変化する現代社会において、法的な課題の抽出・分析それに基づいた、法的紛争の予防・解決を図るより高度な法曹の養成に向けて、学部教育と大学院法曹養成専攻における法曹養成教育とのさらなる連携、拡充を目指します。

(2) 企業・自治体法務、政策プロフェッショナル、高度ジェネラリスト等の、高度専門職業人の育成

有数の大都市圏を抱える東京都が設置する大学として、高度な法的・政治的、行政的知識や理解に支えられた、問題解決能力を備えた公務員や企業人等の高度専門職業人の育成を目指します。少人数教育を行いうる環境を最大限に活かしたきめ細かい指導や、社会各方面の第一線で活躍する本学卒業者等を講師に招いて行う講義等により、学生一人一人の能力を引き出し、次世代の社会の発展を担うために必要な能力の育成、向上に取り組めます。

(3) 大学院の国際化の拡充

国際的な取引、人的・文化的交流がますます重要となる現代社会において、地理的・文化的に近接し、同様の法的・政治的課題を共有しつつある東アジア諸国をはじめ、グローバルな見地から、国際的な通有性を備え、相互理解と先端的学術交流とに貢献する研究者、高度専門職業人の育成を図り、国際化時代の法的・政治的諸課題の問題に取り組む人材を育成していきます。

戦略2 大都市を中心に、ますます変化を加速させる社会における新たな法・政治のあり方の探究、社会への還元

(1) 東京都・産業界との連携及び研究成果の還元

東京は、日本社会の来し方行く末を考える上で象徴的な社会的現象の発生する都市です。東京都が設置する大学として、大都市圏に位置する諸機関・諸組織と連携しつつ、絶えず変化する法学・政治学的諸課題について、その解決の方向を示すための高度研究の成果に基づく具体的解決策を、社会全体に還元していくことを目指します。

（２）現代社会における多様な問題を解決するための研究の推進・展開

特に都市において集約的に現れる現代社会の直面する多様で困難な課題に対して、それらの問題解決に寄与することは、東京都が設置する大学及び大学院として、重要な責務であると考えています。法律学・政治学の各分野において、国際水準に見合った研究者の育成を行い、同時に、他の研究科との連携も視野に入れつつ、都市における高度な知的社会の構築に寄与し、また都市環境の発展をもたらす研究を推進、展開することを目指します。

（３）社会の変化に即応する研究のさらなる展開

これまでにない急激な変化を遂げ、混迷の度を深めかねない現代社会において、法学、政治学に対する問題解決機能へ寄せられる期待も、これまでになく高まっています。学問的伝統やリベラルアーツの視点も踏まえながら、次世代を担う最先端の法学、政治学のあり方を探究する場として、多くの領域にわたる第一線級の研究者による不断の研究、社会への発信に務めるべく、研究環境の整備、発展に、引き続き取り組んでいきます。